

佐野市スポーツ賞・特別賞を贈呈

市ではスポーツで顕著な成績を上げるとともに、市の名声を高めた個人やチームを「佐野市スポーツ賞」として表彰しています。

そこで2月28日、全国高校サッカー選手権で第3位になった佐野日大高校サッカー部にこの賞を贈呈しました。また、今回特別賞として、全国大会で3位以上の成績をあげた個人8人に特別賞を贈呈しました。

スポーツ賞の授与式(佐野日大関係)は、佐野日大高校の体育館で全校生徒約1,200名がいる中行われ、スポーツ賞のサッカー部、特別賞の生徒に賞状や副賞が贈られました。

受賞者を代表し、サッカー部主将・福田一成さん(佐野南中出身)は「この賞に恥じぬよう、今後の人生を歩んでいきたい。また、後輩たちには再び受賞できるよう頑張ってもらいたい」と話しました。また同日夕方には市長公室で小倉さん、安岡さんに特別賞を贈呈しました。

スポーツ賞は平成26年度に選抜高校野球でベスト4に入った同校硬式野球部、レスリングの斎川哲克さんに続く3例目。サッカー部の皆さん、そして特別賞を受賞された皆さん、おめでとうございます。

(特別賞) 敬称略

佐藤龍吾、大貫隼洋、工藤時生、山本達也(佐野日大)

栃木県選抜として国体ラグビー3位

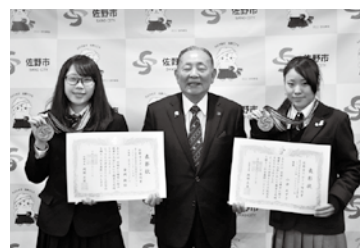
久保光里、鈴木菜々美(佐野日大)、安岡桃佳(佐野)

全国高校女子セブンズラグビーで栃木県選抜として準優勝

小倉あずさ(白鷗足利) 全日本女子ボクシング選手権大会優勝



佐野日大高校での授与式(代表者が登壇)



小倉さん(右)
安岡さん(左)



全国学びとまちづくりフォーラム2017 楽習講師フェア

3月4・5日の両日、文化会館などを会場に開催されました。

フォーラムではまちづくりに関する分科会を分野に分けて実施し、環境問題・自然保護の分野では福島県白河市の「白河の関地域保全隊」の方が、自然を活かした地域の活性化について話しました。

またシンポジウムでは「学びを通じた地域づくりの推進」について話し合わせ、生涯学習を通じたまちづくりについて意見が交わされました。訪れた方々は各地域・分野の取り組みに興味深そうに耳を傾けていました。

楽習講師フェアでは、市に登録する生涯学習講師「楽習講師」の皆さんが、ワークショップやステージなどを実施。子どもたちがバルーンアートに取り組むなど、それぞれが興味に応じて楽しんでいました。



座禅 心を見つめて



写真はお寺より提供

最近、瞑想や座禅が隠れたブームになっているようです。そこでインターネットで調べ、山形町の報恩寺で坐禅会を行っているを知り、参加してきました。

住職は伊藤賢山さん。第1日曜は朝7時から、第3日曜は夜7時から行っているそうで、この日は埼玉や群馬、宇都宮など遠方から来た10名くらいの参加者がおり、若い住職さんですが、熱心に指導をされていました。

私も座りましたが茶礼に始まり20分、休みを挟んでまた20分、後半は希望で警策（集中できないときに叩いてもらうための棒）を入れてもらえます。読経を含めて1時間と少し、爽やかな、心洗われる時間を持ちました。「座禅」＝心を見つめる時間を持つことも大切なことと思いました。

(市民記者 福田満)

佐野市小学生ラグビー大会



佐野市ラグビーフットボール協会主催によるラグビー大会が2月26日、運動公園多目的広場で開催されました。

タグラグビーとは、腰に付けたタグを取ることで守備をする、身体の接触をなくした安全なラグビー。この日は市内小学校から6チーム約50人が参加しました。

選手たちは腰についたタグを取られまいとステップをきったり、パスをつなぎながらトライを目指しました。

総当たり戦で、初めての優勝チームとなったのは植野小プラタナスβ。3勝21分けと無敗での優勝でした。

○2022年に行われる栃木国体において、佐野市はラグビー会場になります。



さのまるがデザインされた婚姻届

市オリジナルデザインの婚姻届ができました。タキシード姿のさのまるやハートがデザインされた、キュートなピンク色の婚姻届です。

3月3日から市民課、田沼・葛生の各行政センター、各支所でお配りしています。

さのこん・5組のカップル成立

中心市街地での婚活事業「さのこん」が3月4日、まちなか活性化ビル佐野未来館で開催され、5組のカップルが成立しました。

今回は合計約40名の男女が参加。

まちなかにある店舗の料理を楽しみながら、イベントを楽しんでいました。

募集は、さのまちづくり㈱のフェイスブックなどで随時行います。ご興味ある方は、次回ぜひご参加ください。

